

「仙台防災未来フォーラム2026」で 地震保険・火災保険水災補償を紹介

～宮城県は地震保険の付帯率が全国1位、県民の防災意識は高い～

日本損害保険協会東北支部委員会（委員長：西山 喜和・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員 東北担当）では、3月14日（土）に仙台国際センター等で開催された「仙台防災未来フォーラム2026」（仙台市主催）に参加し、県民・市民の皆さんや防災関係者に地震保険・火災保険の水災補償を周知しました。

同フォーラムには、来場の皆さまに自然災害を補償する保険の周知や防災にかかる情報提供を行っています。今年度は、例年以上に多くの方がブースに訪れ、用意していた配布物が早々に無くなるくらい大盛況となりました。

宮城県は、宮城県沖地震（1978年）や東日本大震災（2011年）など、これまでに何度も大きな地震に見舞われていることから、県民の防災意識が高く、地震保険の付帯率（※1）が89.3%と全国で最も高くなっています（全国平均70.4%）【2024年度数値】。

一方、台風19号（2019年）など、水災害による被害も経験していますが、水災補償の付帯率（※2）については、62.2%と全国平均（61.8%）を若干上回るに留まっています【2024年度数値】。

※1 火災保険に地震保険を契約している割合

※2 火災保険に水災補償を契約している割合

ブースでは、地震保険と水災補償にかかるクイズと、ハザードマップについてアンケートを行いました。10代～80代の男女188名に回答いただいた結果は以下のとおりです。防災意識が高いこともあり、他県での同様のアンケートと比較し、高い正答率となっているものの、保険には加入しているが仕組みはよく分からないという方も多く、損害保険について一層の理解促進が必要と感じました。参加した方からは「知らなかったので勉強になった」「帰宅したら契約内容を確認する」という感想もありました。

＜クイズ・アンケート結果＞

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| ① 地震保険は火災保険とセットでなければ加入できない（→はい） | 正答率 51.1% |
| ② 火災保険で補償されるのは火事の場合のみである（→いいえ） | 正答率 74.5% |
| ③ 自宅や勤務先のハザードマップを確認したことがある | あり 91.5% |

今後も、当支部では、関係機関と連携して防災に関する取組みを推進するとともに、自然災害を補償する保険の理解促進・普及に取り組み、県民の皆さんの安全・安心に繋げてまいります。



左) クイズ回答者へ防災に役立つノベルティをプレゼント

右) 損保協会ブースで説明